

気候変動適応型社会の実現に向けた技術開発の
方向性立案のためのタスクフォース

国土交通省関連施策について

平成21年9月4日

国土交通省

国土交通省関連施策について

「気候変動適応型社会の実現に向けた技術開発の方向性(中間取り纏め)」
に対して下記二つの課題に関連する施策一覧

赤字についてはタスクフォース内でご説明する施策

グリーン社会インフラ強化(9月8日説明)

- ・**総合水資源管理**
- ・水災害に関する影響予測と適応技術

世界をリードする環境先進都市創り(本日説明)

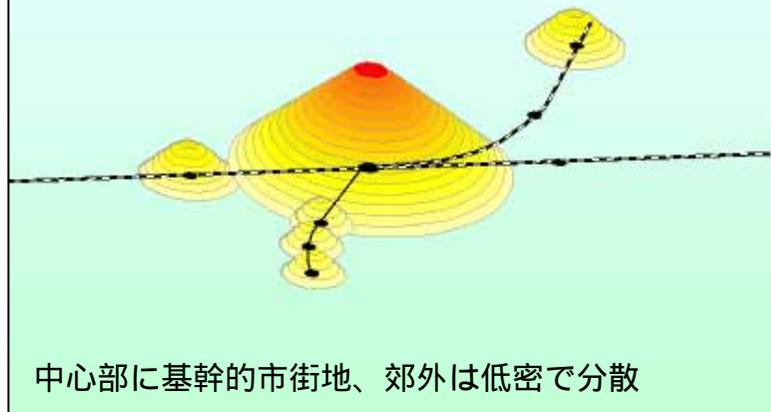
- ・**都市・地域総合交通戦略**
- ・都市計画マスタープランおよび基礎調査における評価指標の確立とPDCA体系の構築による集約型都市構造への誘導について
- ・環境対応車を積極的に活用した次世代低炭素都市・地域交通社会づくり
- ・気候変動に対する適応策に資するための気候・環境変化予測に関する研究
- ・**シビア現象の監視及び危険度診断技術の高度化に関する研究**
- ・水災害に対する危機管理体制の構築

都市・地域総合交通戦略

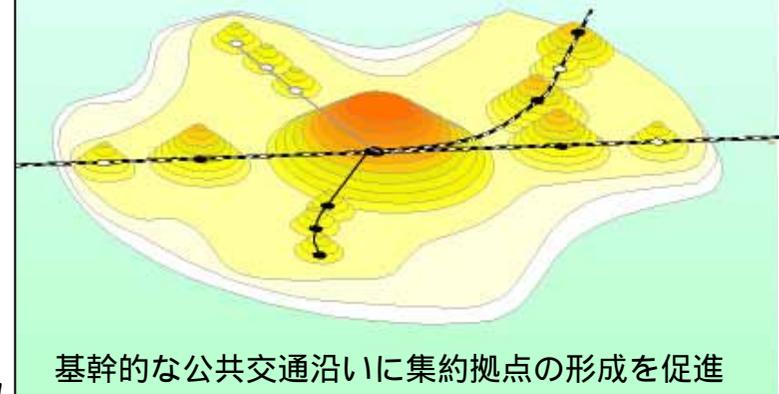
拡散型から集約型都市構造への転換イメージ

- 戦後、各都市における市街化は公共交通沿線に沿い発展し、これまでモータリゼーションの進展とともに低密度の市街地として拡張
- 少子超高齢社会に対応したコンパクトな集約型都市構造を目指す

(1) かつての市街地

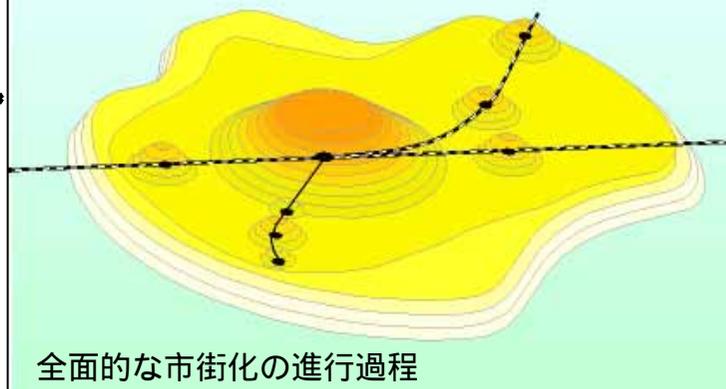


(4) 求めるべき市街地像



【各都市に見られる市街地の傾向】

(2) 今の市街地

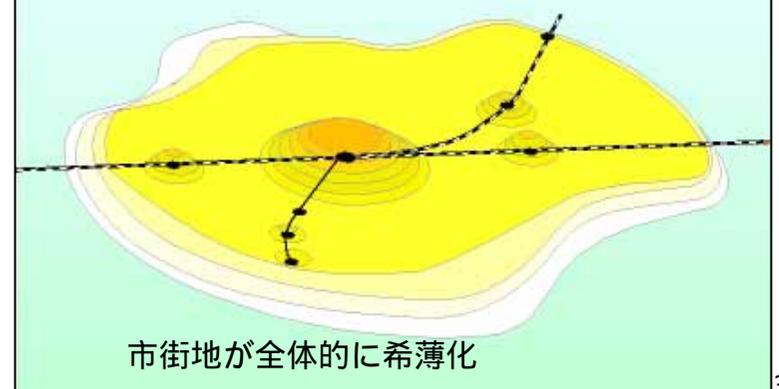


現在の市街化の傾向

都市構造改革

【低密度市街地が拡大した結果】

(3) 低密度になった拡散市街地



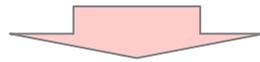
低密化を放置

需要追従型から目標達成型への転換

成長期の都市交通政策の展開

(社会経済の動向)

- 急激な人口増加
- 都市への急激な人口集中
- 経済市場の拡大
- 右肩上がりの経済成長



(都市交通部門の課題)

- 人口の増加、人口集中に対応したインフラ整備
- 交通需要に拡大に見合った容量の拡大
量的不足の効率的解消が成果に直結

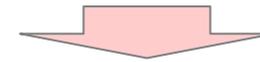


交通需要に対応した
都市交通施策の展開
(需要追従型)

人口減少、超高齢社会における都市交通政策の展開

(社会経済の動向)

- 人口減少・超高齢社会の進展
- 都市への人口集中の沈静化
- 公共の投資余力の減退
- 低経済成長、都市化から都市型社会へ



(都市交通部門の課題)

- 量的ストックはある程度の水準まで達成
- 量的拡大による効果は低減傾向
- **ハード施策とソフト施策が一体となった効率的・重点的な施策展開**



目指す将来都市像を
実現する都市交通施策の展開
(目標達成型)

都市・地域総合交通戦略の展開

道路交通の混雑緩和、公共交通の乗継ぎ円滑化など、都市や地域が抱える交通の課題を解決し、円滑な交通の確保と目指すべき将来像を実現するため、

都市・地域総合交通戦略の策定を国が支援

戦略に基づき、LRT等の公共交通の導入支援や交通結節点の整備等を重点支援

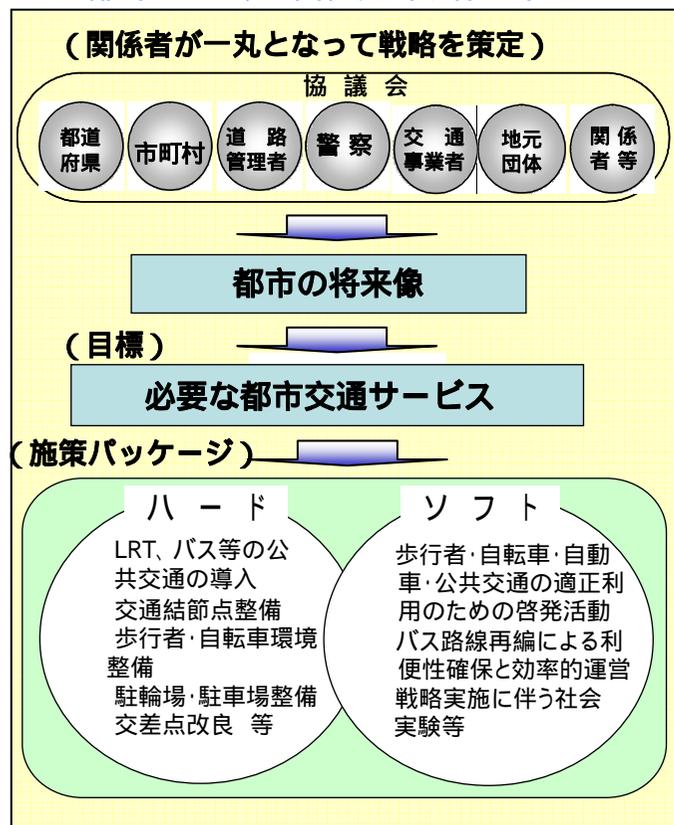
(施策の例示)

基幹的な公共交通機関を軸とした「まちづくり」

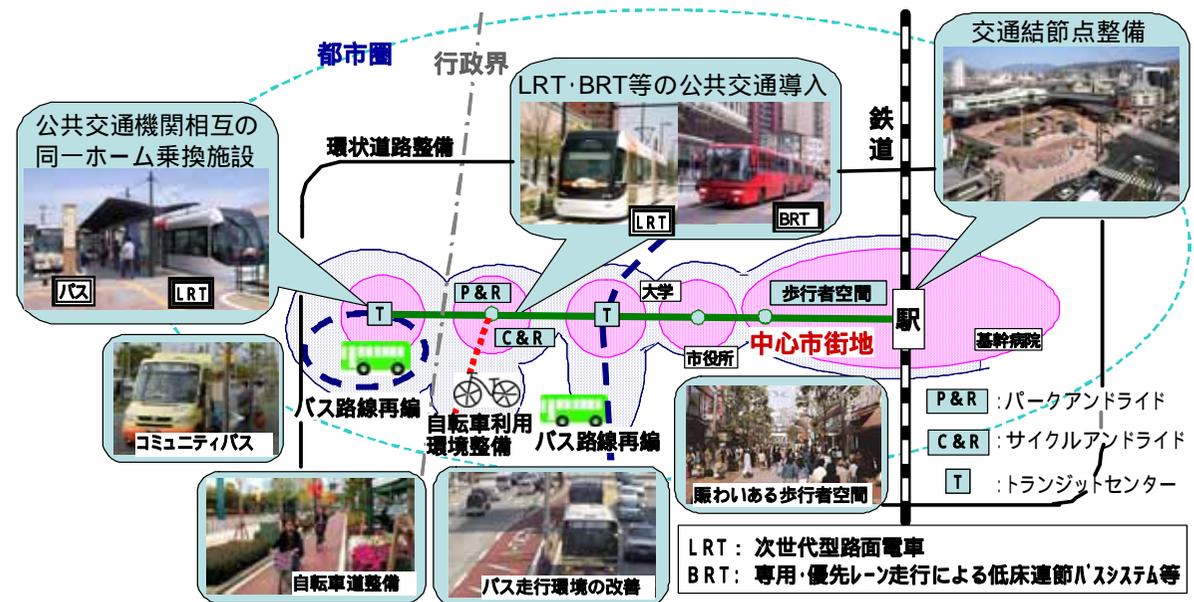
まちの顔となる交通結節点の総合的な整備

まちなかへのアクセス改善と魅力的な歩行者空間の創出

都市・地域総合交通戦略の策定



総合的な交通連携の施策・事業の展開イメージ

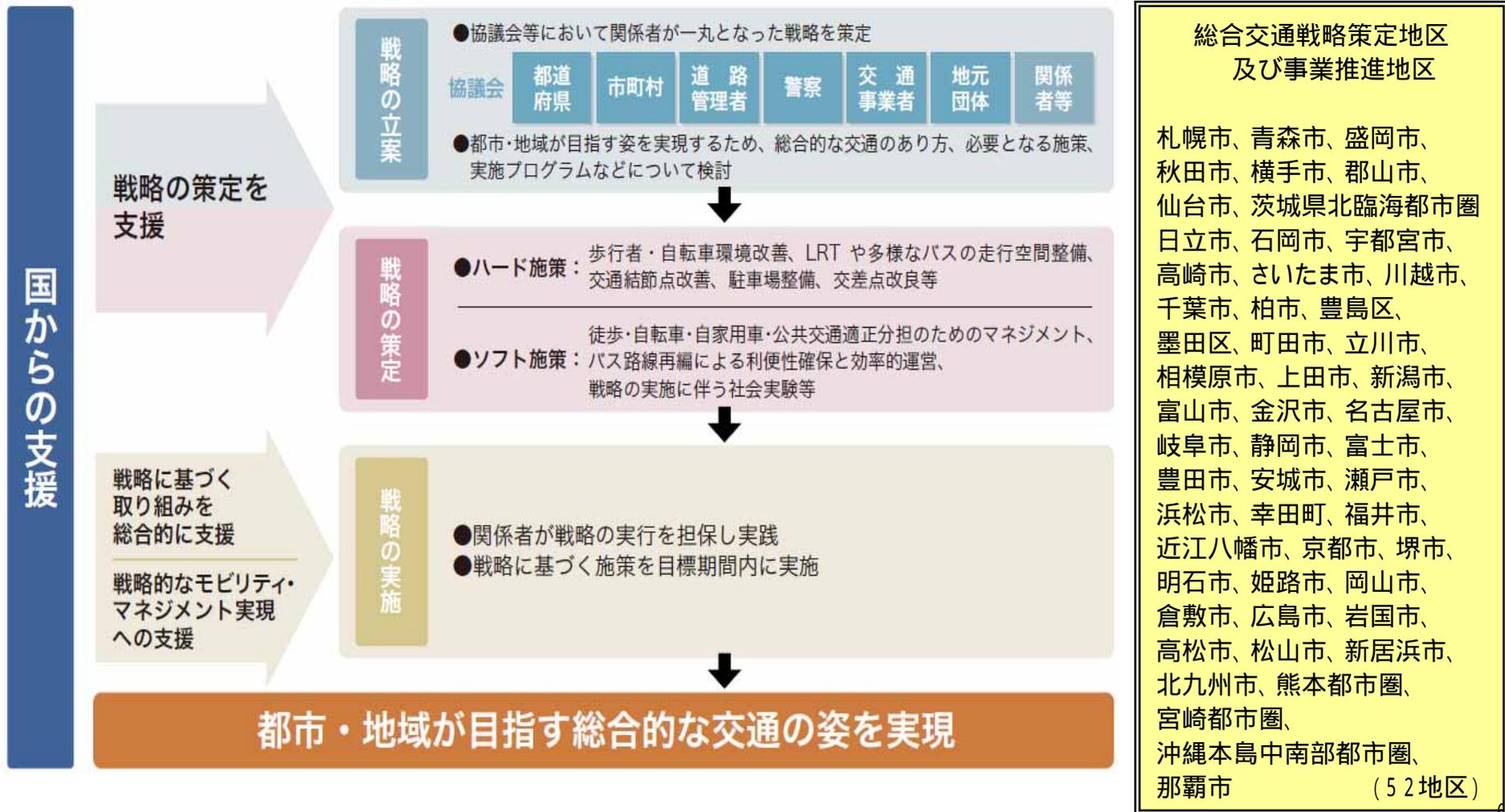


戦略実施プログラム

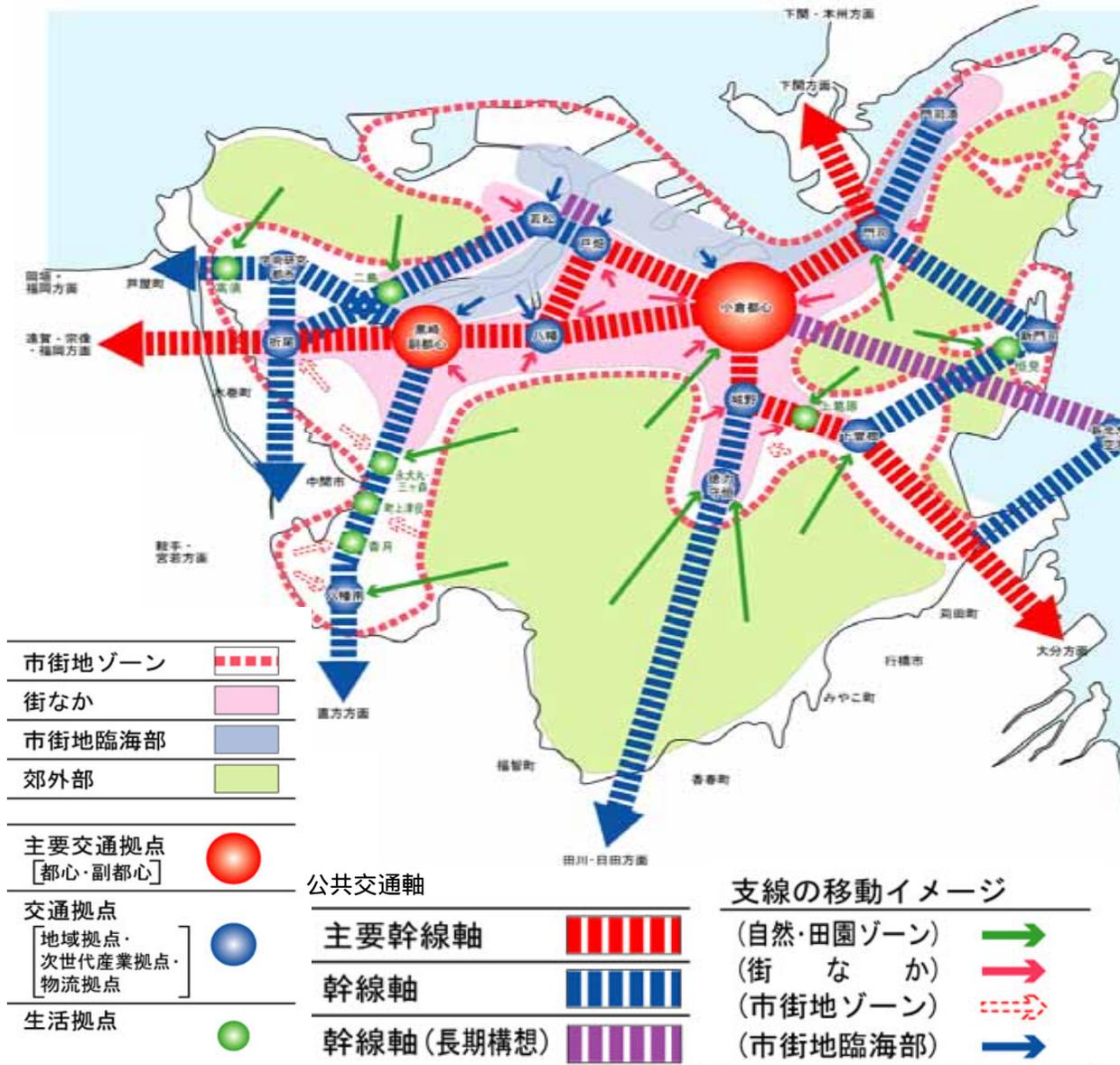
徒歩、自転車、自動車、公共交通の適正分担が図られ、交通円滑化、利便性向上、モビリティの確保を実現

都市・地域総合交通戦略の推進

都市・地域の安全で円滑な交通の確保と魅力ある将来像を実現するため、交通に関わる多様な主体で構成される協議会において「**総合的な都市交通の戦略**」を策定
これに基づく施策・事業を実施するとともに、**戦略的なモビリティ・マネジメントを推進**



北九州市環境首都総合交通戦略



公共交通拠点及びその他の地域での移動イメージ